

平成16事業年度決算概要

1. 経理方法

当会社では、財政状態及び経営成績を明らかにするため、真实性の原則や正規の簿記の原則などの、一般に公正妥当と認められている企業会計原則に準じた経理処理(企業会計、複式簿記)を行っています。

道路資産については、事業の特徴から、その償還状況をより明確に把握できる償還準備金積立方式をとっており、企業会計上一般に採用されている減価償却方式はとっていません。

償還準備金は、営業中の道路から生ずる毎期の収支差(収益と費用の差)を積立したのですが、これは、道路資産に投下した借入金の返済(建設費の償還)に充てられます。

財務諸表では、営業中の道路から生ずる毎期の収支差を「償還準備金繰入」として損益計算書に費用計上し、その累計額を「償還準備金」として貸借対照表に表示することとしており、道路の償還状況がわかるしくみとなっています。

平成16事業年度の決算における償還状況については、営業中の道路の総資産額(要償還額)1兆566億円に対し、償還準備金は平成16年度末で314億円となっております。

2. 貸借対照表

平成16事業年度貸借対照表

(平成17年3月31日現在)

(単位:百万円)

資 産 の 部		負 債 及 び 資 本 の 部	
勘 定 科 目	金 額	勘 定 科 目	金 額
流動資産	15,374	流動負債	16,310
固定資産	1,120,719	固定負債	868,174
事業資産	1,056,604	福岡北九州高速道路債券	315,900
福岡高速道路	711,012	長期借入金	543,942
北九州高速道路	345,592	退職給与引当金	1,738
事業資産建設仮勘定	61,336	資産見返交付金	6,594
福岡高速道路	61,336		
有形固定資産	2,773	特別法上の引当金等	58,792
その他	6	道路事業損失補てん引当金	27,367
福岡高速道路		福岡高速道路	15,836
北九州高速道路		北九州高速道路	11,531
繰延資産	1,089	償還準備金	31,425
		福岡高速道路	57,609
		北九州高速道路	26,184
		(負債合計)	943,276
		基本金	193,436
		剰余金	470
		(資本合計)	193,906
資 産 合 計	1,137,182	負 債・資 本 合 計	1,137,182

語句の説明

資産の部

流動資産

現金、預金及び未収金等

固定資産

事業資産

営業中の道路の建設価額

事業資産建設仮勘定

建設中の道路の建設価額

有形固定資産

建物構築物等の残存価額

繰延資産

債券発行差金等の額

負債及び資本の部

流動負債

未払金等の債務額

固定負債

道路債券、政府借入金、団体からの長期借入金等の負債額

特別法上の引当金

道路事業損失補てん引当金

危険負担対応として料金収入の内より充てる

資金の累計額

償還準備金

営業中道路の建設に投下した資金の返済に充てる額の累計額

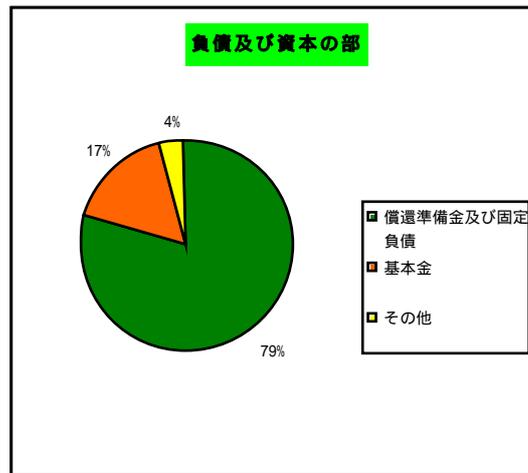
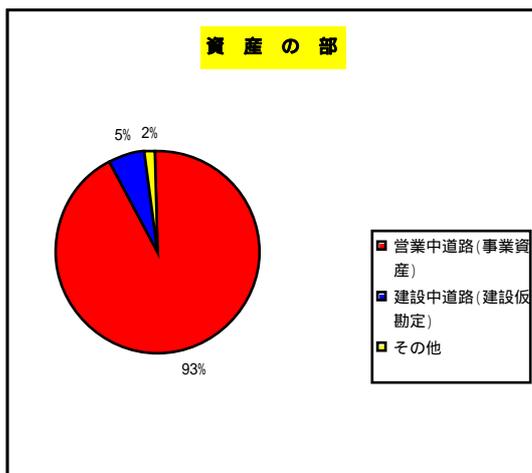
基本金

設立団体出資金累計額

剰余金

駐車場経営の利益金の累計額

貸借対照表 円グラフ



3. 損益計算書

平成16事業年度損益計算書

(平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)

(単位:百万円)

費用の部		収益の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
経常費用	50,484	経常収益	50,537
事業資産管理費	8,593	業務収入	50,096
福岡高速道路管理費	3,969	道路料金収入	49,760
北九州高速道路管理費	4,519	(福岡高速道路)	32,740
その他	105	(北九州高速道路)	17,020
一般管理費	1,190	その他	336
一般管理費	1,050	受託業務収入	44
その他	140	政府助成金収入	12
引当金等繰入	26,901	業務外収益	385
道路事業損失補てん引当金繰入	2,370		
(福岡高速道路)	1,559		
(北九州高速道路)	811		
償還準備金繰入	24,531		
(福岡高速道路)	18,461		
(北九州高速道路)	6,070		
受託業務費	44		
業務外費用	13,756		
債券利息	7,017		
証書借入金利息	1,036		
借入金利息	5,353		
その他	350		
当期利益金	53		
合 計	50,537	合 計	50,537

語句の説明

費用の部

経常費用

事業資産管理費

道路の維持管理に要する経費

一般管理費

人件費等

引当金等繰入

当該年度の道路事業損失補てん金繰入

当該年度の償還準備金繰入

受託業務費

他団体よりの受託業務

業務外費用

道路債券、長期借入金の利息等

当期利益金

駐車場経営に伴う利益金

収益の部

経常収益

業務収入

道路料金収入等

受託業務収入

他団体より受託した業務に充てる収入

政府助成金収入

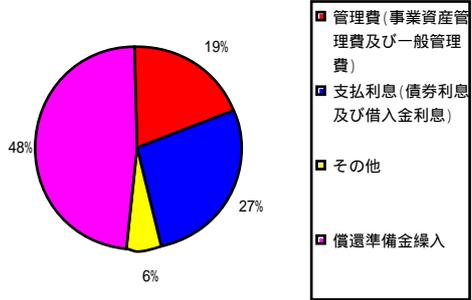
利子補給金

業務外収益

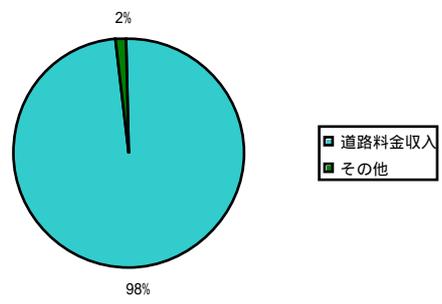
受取利息等の営業活動以外の収入

損益計算書 円グラフ

費用の部



収益の部



4. 償還計画と実績の対比

福岡北九州高速道路の償還計画の達成状況を分かりやすく示すため、収入や費用、収支率や償還率等について実績(平成16年度決算)と計画の比較を行いました。

福岡、北九州、両高速の合計の実績について、度重なる台風の襲来等により収入は計画を下回りましたが、金利の低下や管理費の縮減努力により支出を抑えたことで費用も計画を下回りました。この結果、償還準備金繰入は計画を上回り、償還を進めることができました。また、収支率は計画を上回り、償還率は計画通りとなりました。

今後とも採算性を確保するため、利用促進とともに建設や管理の経費縮減に努めてまいります。

平成16年度福岡北九州高速道路の実績と計画の対比表 (上段:実績 下段:計画) (単位:億円)

道路名	収入(a)	費用(b)				償還準備金繰入(a-b)	収支率(%) b/a × 100	償還準備金	事業資産	償還率(%)
		管理費	損失補填引当金繰入	金利	合計					
合計	503	96	24	138	257	245	51%	314	10,566	3%
	505	110	24	147	280	225	55%	291	10,567	3%
福岡高速	332	45	16	86	147	185	44%	576	7,110	8%
	332	56	16	93	164	168	49%	560	7,106	8%
北九州高速	171	51	8	51	111	61	65%	262	3,456	8%
	173	54	8	54	116	57	67%	269	3,461	8%

四捨五入の関係で計が合わないことがある。

償還計画の対比方法

償還計画は、福岡は第12回整備計画(平成17年2月許可)、北九州は第10回整備計画(平成16年3月許可)の値とした。実績(平成16年度決算)と対比するため償還計画を下記のとおり変換した。

- ・管理費は償還計画表上の管理費から道路改良費を差引いた。
- ・事業資産は、計画作成時の実績に供用年度に供用した道路の建設費の累計を加算するとともに、各年度の管理費のうち改良費を加算した。
- ・償還準備金繰入は、収入から管理費、金利、損失補填引当金繰入を差引いた。
- ・償還準備金は、計画作成時の実績に各年度の償還準備金繰入を加算した。
- ・償還率は、償還準備金を事業資産から交付金を差引いたもので除した。

損失補填引当金

損失補填引当金は、個々の道路で将来事情の不可測性等により償還計画満時に借入金等が残った場合に備えて、その補填に当てるため料金収入の一部を積み立てているもので、道路整備特別措置法施行令で定められている。

すなわち損失補填引当金は、決算では費用として扱っているが、将来のリスクに備え、公社の経営の安定を図る内部保留金としての性格を持っており、その残高は借入金の返済余裕を表している。

損失補填引当金の残高は平成16年度末で274億円あり、毎年増加している。